

令和6年度松本市国内向け誘客プロモーション事業運営業務  
公募型プロポーザル提案説明書

1 事業趣旨

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響、デジタル技術の進展と社会のDX化、ゼロカーボンに向けた取組み等、観光を取り巻く環境の大きな変化とともに旅行者の価値観や需要も大きく変化している。これらの変化を踏まえ、松本市では令和6年3月に「松本市観光ビジョン」を策定したところである。

本事業は、当該ビジョンでキーワードとする「冬季の観光誘客による観光需要の平準化」、「消費額増加」の2つの観点を特に意識し、人口が集中する大都市を中心とした国内へ観光情報等の発信を図るもの。加えて、令和6年秋に耐震工事を終える国宝旧開智学校校舎開館の機会を捉え、2つの国宝（松本城及び旧開智学校校舎）を連携させたプロモーション強化を図ることを目的とする。

2 委託期間

委託契約締結の日から令和7年3月31日まで

3 業務概要

(1) 業務名称

令和6年度松本市国内向け誘客プロモーション事業運営業務

(2) 業務内容

別紙「令和6年度松本市国内向け誘客プロモーション事業運営業務委託仕様書（案）」  
のとおり

4 業務委託料上限額

23,380,000円（消費税及び地方消費税の額を含む。）

※うち5,500,000円は、2つの国宝プロモーションに充てること。

5 企画提案を求める内容

(1) 事業方針

ア 松本市及び国内における観光動向や旅行ニーズを分析した上、全体の方針や取組みの考え方を明らかにし、プロモーションの提案を行うこと。特に、冬季の誘客促進及び消費額増加の観点を意識すること。

イ 各種広告媒体、インフルエンサー等様々な手法を活用し、効果的なプロモーションを提案すること。

ウ 市内の二次交通（バス、自転車など）の利用促進を図るプロモーションを提案する

こと。

## (2) プロモーション事業の企画運営

ア 本事業の主なターゲットは、20～40代の男女（新規及びリピーター）を想定している。各ターゲットに対し、有効と考えられる時期及び内容でプロモーションを企画・提案すること。

イ 上記アのメインターゲット以外に本事業の目的を達成できると思われるターゲットやターゲットの細分化（同行者や旅行形態等）が必要な場合、それらに対しても有効と考えられる時期及び内容のプロモーションを提案すること。

ウ プロモーションのメインテーマや実施期間、実施内容等の概要を示すこと。なお、実施期間については、プレゼンテーション審査後、契約締結まで30日程度の時間を要することに留意し設定すること。

エ ランディングページの想定される掲載内容を具体的に示した上で、サイトのレイアウトやデザイン案を示すこと。なお、作成するページは、松本市公式観光サイト（新まつもと物語プロジェクト）のサブドメインを使用すること。

オ インフルエンサー等を活用したプロモーションを提案すること。想定するインフルエンサー等のフォロワー数や配信内容等の影響力を明らかにすること。なお、活用の際し、招請をする場合には、行程案やスケジュール、情報発信内容及び回数について示すこと。

カ ターゲットに適した広告媒体を選定し、その選定理由とともに具体的に訴求する内容や実施期間について明らかにすること。YouTube広告を実施し広告金額が一定金額を超える場合には、ブランドリフト調査（無料）の実施を必須とする。

## (3) 2つの国宝プロモーションの企画運営

ア 松本市内に存在する2つの国宝のプロモーションについて、メインテーマや実施期間、実施内容等の概要を示すこと。なお、上記(2)のプロモーションと連携すること。

イ インパクトのあるキャッチフレーズを提案すること。なお、「文武両宝」など既に市内で使用されているキャッチフレーズを使用することも可能とするが、使用に際し相手方と調整をすること。

ウ ランディングページを別に作成する場合、想定される掲載内容を具体的に示した上で、サイトのレイアウトやデザイン案を示すこと。作成するページは、松本市公式観光サイト（新まつもと物語プロジェクト）のサブドメインを使用すること。

エ 効果的な広告媒体を選定し、その選定理由とともに具体的に訴求する内容及び実施期間について明らかにすること。

## (4) 効果検証

下記の数値について目標設定を行い、その数字を示すこと。

- ・ 広告表示回数（インプレッション数）
- ・ 広告接触者数（リーチ数）

- ・ 広告反応数（クリック数）
- ・ その他設定できる目標数値

(5) 実施体制及び遂行能力等

- ア 当該業務に活かすことができる過去の類似業務の実績を示すこと。
- イ 本事業を効果的にかつ確実に実施するためのスケジュール及び執行体制を示すこと。

6 参加資格要件

参加者は、次の要件を全て満たすこと。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項又は松本市財務規則（昭和3年規則第10号）第104条第1項の規定により入札に参加することができないとされた者でないこと。
- (2) 公告の日において、会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく会社更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てをしている者ではないこと。
- (3) 松本市暴力団排除条例（平成24年条例第3号）第2条第2号に規定する暴力団員又は同条例第6条第1項に規定する暴力団関係者でないこと。
- (4) 松本市製造の請負、物件の供給等入札参加資格者に係る指名停止要領（平成29年3月31日訓令甲第10号）の規定による指名停止処分を受けていないこと。
- (5) 国及び他の地方公共団体において指名停止措置を受けていないこと。
- (6) 松本市の入札参加資格を有していない場合は、国税及び地方税に滞納がなく、社会保険等に加入していること。

※ 複数者が協力して参加する場合、構成員すべてが上記を満たす必要がある。また、契約の相手方は代表者とし、他の構成員は協力者となる。

7 参加手続きに関する事項

(1) 日程

ア 企画提案の公募開始	令和6年4月 9日（火）
イ 質問書の提出期限	令和6年4月15日（月）正午まで
ウ 質問書に対する回答	令和6年4月17日（水）※
エ 参加申込書提出期限	令和6年4月22日（月）正午まで
オ 参加資格審査及び結果通知	令和6年4月23日（火）※
カ 企画提案書提出期限	令和6年5月16日（木）正午まで
キ 書面審査	令和6年5月24日（金）頃
ク プレゼンテーション審査	令和6年5月31日（金）※

※予定が前後する場合もある。

## (2) 参加表明書の提出

下記の提出書類ア～クについて、提出期限までに担当課へ持参又は郵送により各1部ずつ提出すること。なお、令和6年度の松本市入札参加資格を有する者は、ウ～クについて提出を省略できる。

ア 参加表明書（様式4）

イ 誓約書（様式5）

ウ 会社概要

エ 登記事項証明書（提出日から三カ月以内のもの、コピー可）

オ 国税の納税証明書（提出日から三カ月以内のもの、コピー可）

※未納の税額がないことがわかる証明書

カ 市税の納税証明書（提出日から三カ月以内のもの、コピー可）

※松本市内に事業所を有する場合、未税の税額がないことがわかる証明書

キ 財務諸表（提出日から直近のもの）

ク 印鑑証明書（提出日から三カ月以内のもの、コピー可）

※印鑑証明書と契約等に使用する印鑑が異なる場合、使用印鑑届（様式8）を提出すること。

## (3) 質問の受付及び回答

企画提案を行うにあたり質問がある場合は、質問書（様式7）に質問の要旨を簡潔に記入し、質問受付期間内に電子メールで送信するものとする。

質問を受けた場合は質問者に対して回答するとともに、企画提案を募集する上で広く周知すべきと判断されるものについては、質問の内容を松本市ホームページで公表する。

メールのタイトルは「(団体名) 令和年6度松本市国内向け誘客プロモーション事業運営業務質問書」とする。

## (4) 企画提案書の提出

下記の提出書類ア～オについて、提出期限までに担当課へ持参又は郵送により、必要部数（イ、エ、オについては社名入り1部、社名無し10部、その他については各1部）及びPDF形式の電子媒体（CD又はDVD）1部を提出すること。

なお、「エ見積書」の内訳書及び「オ業務実施スケジュール」については企画提案書の中に記載すること。

ア 提案書類提出書（様式1）

イ 企画提案書（A4両面印刷80ページ以内、長辺2点留め、様式任意）

ウ 提案見積書（様式2）

エ 上記ウの内訳書（様式任意）

※2つの国宝プロモーションにかかる経費を明記すること。

オ 業務実施スケジュール（様式任意）

カ 業務協力予定書（様式3）

※共同提案を予定している場合のみ

(5) その他の留意事項

- ア 申込書類の作成・提出に係る費用は申込者の負担とする。
- イ 申込書類に虚偽があった場合は失格とする。
- ウ 提出のあった申込書類は返却しない。
- エ 同一の申込者からの複数の企画提案書の提出は認めない。
- オ 審査の公正を期するため、社名無しの企画提案書には、会社名、住所、ロゴマークなど、参加者を特定できる表示を付さないこと。

8 選定方法

「令和6年度松本市国内向け誘客プロモーション事業運営業務企画競争実施委員会」の審査において、下記の評価項目及び内容に基づき総合的に審査し、最も優れた企画提案者（契約候補者）を選定する。

(1) 評価項目及び内容

ア 技術評価（1, 440点満点）

評価項目		評価内容	評価点
1	事業の方針 (計80点)	松本市の観光ビジョン及び本事業の趣旨を理解しているか。また、松本市における観光の知識が十分か。	80
2	プロモーション 事業の企画運営 (計720点)	プロモーションのメインテーマや実施期間、実施内容が本事業の目的を達成できる内容になっているか。	200
		より具体的なターゲットに有効な時期と内容で訴求しているか。	200
		キャンペーンサイトのデザイン及びレイアウトが分かりやすくなっているか。また、掲載内容が魅力的か。	80
		インフルエンサー等の活用について、効果的な活用ができる提案内容になっているか。	120
		適した広告媒体を選定し効果的な提案となっているか。	120
3	2つの国宝プロモーション企画運営 (計360点)	プロモーションのメインテーマや実施期間、実施内容が本事業の目的を達成できる内容になっているか。	160
		インパクトのあるキャッチフレーズを使用したプロモーションの企画内容となっているか	80
		適した広告媒体を選定し、効果的な提案となっているか。	120

4	効果測定 (計80点)	インプレッション数やリーチ数など、具体的な目標値を設定し、測定方法や測定時期を示しているか。	80
5	業務遂行能力 (計80点)	過去に同様の業務に取り組んだ経験など、十分な業務実績があるか。また、事業を効果的に実施するため、迅速かつ確実に事業を遂行できる体制やスケジュールとなっているか。	80
6	その他 (計120点)	全体のプロモーションと国宝プロモーションの2つのプロモーションが連携したプロモーションとなっているか。	120

イ 価格評価 (160点満点)

評価内容	評価点
(最低提案見積額/当該提案見積額) × 160点	160

(2) 参加資格の確認

ア 「6 参加資格要件」に基づき参加資格の確認を行う。

イ 参加資格の確認結果は、確認後速やかに参加表明書提出者全員に通知する。

(3) 書面審査

ア 提案者が4者以上の場合、書面審査を実施する場合がある。なお、書面審査は、提出書類に基づき、「8(1)評価項目及び内容」に従い評価を行う。

イ 書面審査の結果は、確定後速やかに企画提案者全員に通知する。

(4) プレゼンテーション審査

ア プレゼンテーション審査により契約候補者を選定する。なお、書面審査を実施した場合、書面審査通過者のみが参加可能となる。

イ 出席者は総括責任者を含む最大3名までとする。

ウ プレゼンテーションは1企画提案者あたり約35分(提案説明20分、質疑応答15分)を想定し、個別に行う。なお、提案者数によって時間は変更する場合がある。

エ 最低評価基準点は審査員全員の技術評価の合計点の7割とする。

オ 提案者が1者の場合には、最低評価基準点を超えていた場合に、契約候補者として選定する。

カ 実施委員会による採点が同点の場合には、委員全員の協議により契約候補者を選定する。

キ 本審査は匿名で実施するため、プレゼンテーション時には社名を公表しないなど、留意すること。

ク 審査は松本市内での対面実施を基本とするが、不測の事態が発生した場合にはオンラインでの実施を検討する。

(5) 契約候補者の選定及び契約について

ア 実際の業務内容は、企画書に基づき、担当課と契約候補者による協議により決定す

るため、企画書の内容すなわち実際の業務内容ではないことに留意すること。

イ 契約候補者が「6 参加資格要件」のいずれかに該当しないこととなった場合、契約を締結しないことがある。

ウ 契約候補者との交渉が不調に終わった場合、実施委員会において次点とされた者と交渉する場合がある。

(6) 選定結果の通知方法、結果に対する質問方法等

選定の結果は、企画提案者全員に対して文書により通知する。選定の結果に対する質問については、原則として文書にて提出すること。

## 9 参加資格の喪失

以下のいずれかに該当した者は失格とする。

- (1) 参加資格を満たしていないことが判明し、又は、満たさないこととなったとき
- (2) 提案書類に重大な不備や虚偽の記載をしたことが判明したとき
- (3) 審査の公平性を害する行為があった場合
- (4) 見積額が業務委託料上限額を超えた場合
- (5) その他市長が特に参加資格を有することが不相当であると認めた場合

## 10 参加資格等についての申立て

本プロポーザルにおいて参加資格を満たさない又は満たさないこととなった等の通知を受けた日の翌日から起算して10日（松本市の休日を定める条例で規定する休日を除く。）以内にその理由等について書面により求めることができる。

## 11 評価についての申立て

企画提案者は自らの評価に疑義があるときは、選定結果に係る通知を受けた日の翌日から起算して3日（松本市の休日を定める条例で規定する休日を除く。）以内に、自らの評価について書面により疑義の申し立てを行うことができる。

## 12 企画提案の著作権等に関する事項

- (1) 企画提案の著作権は各提案者に帰属する。
- (2) 本市が本業務の実施に必要と認めるときは、企画案を本市が利用（必要な改変を含む。）することを許諾するものとする。この場合は、あらかじめ提案者に通知するものとする。
- (3) 企画提案者は、本市に対し、提案者が企画提案を創作したこと及び第三者の著作権、著作人格権及びその他特許権、商標権を含むいかなる知的財産権を侵害するものではないことを保証するものとする。
- (4) 企画提案の利用について、第三者から権利侵害の訴えその他の紛争が生じた時は、企

画提案者は、自己の費用及び責任においてこれを解決するものとし、かつ、本市に何らかの損害を与えたときは、その損害を賠償するものとする。

### 1 3 その他留意事項

- (1) 企画提案に係る一切の経費については提案者の負担とする。
- (2) 提出後の差替え、変更、再提出及び追加を認めない。
- (3) 本市が提出した資料は、本市の了解なく公表、使用することができない。
- (4) 本プロポーザルに係る情報公開請求があった場合は、松本市情報公開条例（条例第72号）に基づく公開請求に則り審査結果を開示する場合がある。
- (5) 新型コロナウイルス感染症等、国内外の情勢により、業務の一部停止を行う場合が生じるので留意すること。

### 1 4 問合せ先

担 当 松本市文化観光部観光プロモーション課 飯瀨  
住 所 〒390-0874 松本市大手3-8-13松本市役所大手事務所5階  
TEL 0263-34-8307  
FAX 0263-34-3049  
メール kankou@city.matsumoto.lg.jp